

着眼大局


 滋賀銀行 専務取締役
吉田 郁雄

被災地を忘れず

この秋、福島県を訪れ、福島第一原発から6kmに位置する富岡町を視察いたしました。JR郡山駅から東に向かい、避難指示が10月に一部解除されたばかりの川内村を経由し、居住制限区域の富岡町に入りますと、セイタカアワダチソウに占拠された農地が広がっていました。さらに東に進みJR常磐線の夜ノ森駅まで来ますと、そこからは帰還困難区域で立ち入り禁止区域となっていました。人が住めない、入れない街です。夜ノ森駅周辺は桜の名所で、樹齢100年を超えたソメイヨシノを含め約1500本の桜並木があります。毎年4月に「夜ノ森さくら祭」が開催され、夜ノ森公園付近には出店が立ち並んで夜には桜がライトアップされ、各地からのお花見客によって宴が開かれていたと、ご案内いただいた

宮本町長は当時を懐かしむように話されていました。

富岡町は東日本大震災で震度6強、津波の高さは21.1m、そして原発事故を経験しました。今年10月現在、福島県では今なお12万7千人の方が避難されており、そのうち帰還困難区域の方が2万5千人、居住制限区域の方が2万3千人もおられます。一刻も早い復旧と復興が求められますが、3年半を経過した今も復旧さえ手がつけられない地域があることを知りました。

しかし、富岡町はもちろん福島県の訪問先では「震災や原発事故を乗り越え復興させる」という強い意志を感じました。遠隔地の私たちも日本人として、経済人として、被災地のためにできることを実践していきたいとあらためて痛感した次第です。

 県内データ
あれこれ

● 平成24年経済センサス活動調査

4分の1以上が製造業に従事

事業所数では「卸売業、小売業」がトップ

今回は総務省の「平成24年経済センサス活動調査」から、県内の事業所数および従業者数についてみてみたい。県内の総事業所数（出向・派遣従業者のみは除く）は55,265事業所、従業者数は590,842人で、全国に占める割合は、事業所数、従業者数ともに1%程度だ。

業種別にみると、事業所数では「卸売業、

小売業」が13,461事業所と最も多く、全体の24.4%を占める。次いで、「建設業」（11.6%）、「製造業」（10.6%）となっている。

一方、従業者数では、「製造業」が163,329人と最も多く、全体の27.6%を占め、4分の1以上の従業者が「製造業」に従事している。次いで「卸売業、小売業」（18.9%）、「医療、福祉」（10.0%）な

どが続いている。

全国では事業所数、従業者数ともに「卸売業、小売業」がトップであるが、県内では従業者数で「製造業」がトップと、「ものづくり県」である滋賀県の特徴といえる。

製造業の活動動向をあらわす、「鉱工業指数」は、足元では弱含みで推移しているものの、県内の経済活性化には高いウェイトを占める製造業の活況が必要不可欠であり、今後の製造業の動向に注目したい。

（（株）しがぎん経済文化センター 吉川 友）

事業所数および従業者数の構成

